



見事な歌声を披露するこぶし会の皆さんと拍手を送る参加者（円内）

「うたごえ喫茶」8年度初開催 きれいな歌声が活力に

うたごえ喫茶は4月2日、町高齢者福祉センターで行われ、およそ30人が参加しました。

この日はシルリハ体操の講習やこぶし会（吉澤明会長）が歌を披露し、参加者はきれいな歌声にペンライトを振り、拍手や声援を送るなど終始和やかな雰囲気となりました。

今後の開催予定日

- ▶ 5月7日(木) ▶ 6月4日(木) ▶ 7月2日(木)
- ▶ 8月6日(木) ▶ 9月3日(木) ▶ 10月1日(木)
- ▶ 11月12日(木) ▶ 12月3日(木)

町内全域で関係車両がパレード 山火事防止を広く啓発

町山火事防止対策協議会（会長・鈴木重男町長）主催の町山火事防止パレードは4月8日に開催され、町消防団や林業関係者などが参加しました。

出発式で鈴木町長は「今回のパレードを通じて、町民の山火事防止に対する関心が高まるようしっかり啓発していただきたい」とあいさつ。その後、関係車両がくずま～るから町内3方向へ一斉に出発し、山火事防止を呼びかけながらパレードを行いました。



くずま～るを出発し町内3方向へパレードする関係車両

お手製の非行帽子マスコットを贈呈 明るい社会の実現を誓う

町更生保護推進協議会（丹内勉会長）が4月15日、小屋瀬中学校を訪問し、1年生5人に犯罪や非行の防止を呼びかけました。

保護司の中山優彦さんは更生保護の取り組みなどを紹介。「困っている人には優しく声をかけてほしい」と手助けの大切さについて語りました。その後、更生保護女性の会から手作りのマスコットやノートカバーを受け取り、橋坂莉香さんは「マスコットなどを贈呈してもらいうれしかった」と感謝の気持ちを伝えました。



マスコットとノートカバーを手に笑顔の1年生（前列）と町更生保護推進協議会の皆さん



1各部会による成果発表の様子
2資料に目を通しながら発表を聞く参加者
3あいさつを述べる触澤副町長
4活動に助言するアドバイザーの広田さん

を交えながら説明。参加者は時折資料に目を通しながら、真剣な表情で説明に耳を傾けていました。

アドバイザーを務めた広田純一さん（NPO法人いわて地域づくり支援センター理事長）は、各部会の活動を評価し「活動の振り返りを経て、次にどうするのか試行錯誤を繰り返して挑戦していくことが大事。部会間のつながりを強化して、うまく情報発信していくことにもぜひチャレンジしてほしい」と助言。今後の取り組みと多様な分野、産業の連携強化に期待感を示していました。

交通・防犯指導員に委嘱状を交付 安全を守る思いより強固に

町交通指導員ならびに町防犯指導員の委嘱状交付式は4月1日、くずま～る会議室で行われ、出席した12人に鈴木重男町長から委嘱状が手渡されました。

鈴木町長は「高齢化が進む中、各隊員の役割は大きくなっている。安心安全に勝る福祉はないということを忘れずに活動してほしい」とあいさつしました。今回は交通指導員6人と防犯指導員8人に委嘱し、任期は令和10年3月31日までの2年間です。



鈴木町長から各隊員1人ずつに委嘱状が手渡されました